

大橋 俊

- ・過去に様々なリリース器具を作成
- ・現在は顎でリリースする機構を作成して挑戦中
- ・顎でリリースする機構は、健常者に近い伸び合いでリリースできる
- ・作成は大半が自作
- ・部分的な溶接などは、依頼して作成してもらった
- ・肩につける部分は、固定をすることと締め付けられないこととの適切な状態を探るのが大変で、クッション部分もいろいろな素材を試した
- ・大きな装具にするのではなく安全強度を確保しながら、コンパクト性・軽量化・通気性(暑さ対策)などを考えた

